

国語編-4：絆か鎖か

矢澤 洋爾



前回の漢字一文字企画、面白く拝見いたしました。中でも印象に残ったのが Tomy Jr. さんの携帯電話を鎖で表現したもの。確かに、社会ないし会社に束縛されるイメージを「鎖」と表現したくなる気持ちは良く分かります。だが一方で特に若い女性は「24 時間誰かとつながっていたい」と言って携帯電話を離しません。こちらは同じ繋がるのでも「鎖」ではなく「絆」と解釈しているのでしょうか。「贅沢」と「無駄」の違いが微妙であるように、「絆」と「鎖」の違いも微妙なもののように感じます。

「絆」と言う字は「糸+半」で紐をぐるぐる巻いてからめること、だそうです。ぐるぐる、というところが攪拌の「拌」（かきまわす）に共通の考えですね。「きずな」で漢和辞典を引くと「継、綯、縹」などの字があって、いずれも「つなぐ」とか「紐でひっばる」というような意味です。

「鎖」の右側の字は「小さい」という意味で、鎖は小さい金輪をつらねたくさを意味するのだとか。右側の「小さい」という意味で使われている形は煩瑣の「瑣」にも使われています。

どちらも「くっつける」という事に関連していることは間違いない。「くっついていたい」と思えば絆になり、「くっつきたくないのにくっつけられている」と思えば鎖になる、という事なのでしょう。問題は何が「くっついていたい」と「くっついていたくない」とを分けるのか、という事です。

百歳以上で行方不明の人が二百人を越える、という報道がありました。百歳以下にも調査を広げればもっと多くの人が戸籍に名を残したまま行方知れずになっている可能性があります。その多くは、私が想像するに、認知症を患い徘徊癖が直らず、家族が対策に苦慮していた人達ではないかと思えます。あまり想像したくない事ですが、残された家族は認知症の親がいなくなってあるいはほっとしたのかも知れません。本来絆であるべき家族が鎖になってしまっていたのです。鎖が解けてほっとしたのかも知れません。そうかと思えば、自分の子すら鎖に感じてしまった母親がいます。「ママ、ママァ！！」と泣き続ける子を放っておく神経は殆んど想像を絶します。写真を見れば笑顔のとても可愛らしい愛くるしいお子さんではありませんか。大切な絆を鎖にはしてはいけません。田舎では地域の絆が文化の基本になっています。冠婚葬祭も隣近所を中心に行われます。中央から進出してきた大企業の工場に勤める人が「隣に住む人が亡くなったので明日葬式のため休みます」と言って人事の人から呆れられたという話を聞きました。そうした絆を鎖に感じる若者が都市に出たがります。「都市は自由にする」という言葉がありま

したね。ところが都市に出てみると、今度は地域でなく会社が絆ないし鎖になってきます。冠婚葬祭は会社を基本に行われ、隣に住む人の家族構成は知らなくても上司部下の家族の事は良く知っているのが当たり前になる。もし今戦争が起こったら、かつては地域の人が「武運長久」と書かれた幟を作ってくれ寄せ書きをしてくれたのに対して、きっと会社の人達がそれをしてくれるのでしょうか。

鎖なのか絆なのか分かりませんが、人間は何かに束縛されていないと幸せを感じられないもののように思えます。スポーツだってファンでないと見ていてつまらない。ファンである事は絆であると同時に鎖でもあります。自分の最良のチームが活躍するからこそ幸福感を味わえる。逆に負ける時は、ファンでさえなければ気持ちを平穏に保つ事が出来るのに。勝つときは絆になって負けるときは鎖になってしまうのでしょうか。

絆ではあるけど鎖ではない、という例を一つ思いつきました。故郷です。私は18歳までを過ごした島根の出雲地方に愛着を感じます。そこには親が作ったお墓があり、家があります。家には誰も住んでいない。もし誰か買おうという人が現れば売っても生活上特に問題はないかも知れません。でも売る気にはなれない。故郷との絆をなくしたくない、という思いは強くあります。それは鎖とは全く無縁な感情です。切ろうと思えばいつでも切れる。なんら僕を束縛するものではありません。完全に主導権は僕自身にある。でもそれを切る気にはなれない。おそらく僕の息子にはそんな気持ちは毛頭ないでしょう。もし100万円でもいい、買う人が出てきたら即座に売ってしまうに違いない。一体、この絆の感情は何なのか？

絆を鎖とったり、鎖を絆とったり、それらは殆んどが我々の錯覚ではないでしょうか。どうせ錯覚なら何か良い方法がないだろうか。自分を幸福にするために何か良い方法がないだろうか。その答えは今の私にありません。

そう言えば沢田研二の唄に以下のようなものがあつたのを思い出しました。

「愛を引き止める、ああ鎖があるなら、二人つながれて、ああどこまで行きたい。」

切なそうに唄う高音の歌声がお気に入りでした。この歌詞を聴いて皆さんはどういうイメージを持たれますか？

1)「愛」というハート型をした風船みたいなものがあつて、それはフワフワしていて、ちょっと気を許すとすぐにどこかへ飛んで行ってしまふ。そういうものを、どこにも飛んで行かないようにしっかりと鎖でつないで、夫婦二人で犬の散歩をするように、しっかりと鎖を手握って離さないようにする。

2) 本当に人を好きになればその人とくっついてグルグル巻きに縛られていたい。もう二度と離れないように。

「絆」の語源からすれば2)の方がピッタリの感じがします。僕も2)のイメージを持ちます。ただあの歌詞で「鎖」を「絆」に置き換えると、何か変。どこかおかしい。この「おかしいなあ」という感じは一体どこから来るのでしょうか？

(10.08.29)